

強い農業・担い手づくり総合支援交付金 成果目標の達成状況報告について

令和2年度に実施した福山市才町、大橋水田地区の成果目標の達成状況（5年度目）は、次のとおりです。

1 地区の成果目標

成果目標項目	目標達成状況（経営体数） （上段：計画、下段：実績）	5年度目 達成状況
付加価値額の拡大	1	0%
	0	
経営面積の拡大		目標年度に達成

2 達成状況に関する県の所見（評価）及び指導内容

付加価値額の拡大の目標については年々改善しつつあるが、生産資材費や固定経費の高騰により目標を達成できていない。

経営コンサルタントなどの専門家を活用して経営診断などを行い、重点的に指導を行う。

経営面積の拡大については目標を達成しており、地域の担い手として経営面積の拡大を行っている。

強い農業・担い手づくり総合支援交付金 成果目標の達成状況報告について

令和2年度に実施した世羅町賀茂東、重永後、賀茂西、重永前、京丸上地区の成果目標の達成状況（5年度目）は、次のとおりです。

1 地区の成果目標

成果目標項目	目標達成状況（経営体数） （上段：計画、下段：実績）	5年度目 達成状況
付加価値額の拡大	1	100%
	1	
経営面積の拡大	1	0%
	0	

2 達成状況に関する県の所見（評価）及び指導内容

付加価値額の拡大については、目標が達成できた。経営面積の拡大について、農地中間管理機構の地域駐在相談員を活用して、利用権設定が円滑に行えるよう助言等を行い、面積拡大に繋げるよう指導する。

強い農業・担い手づくり総合支援交付金 成果目標の達成状況報告について

令和3年度に実施した広島市外原・下野原地区の成果目標の達成状況（4年度目）は、次のとおりです。

1 地区の成果目標

成果目標項目	目標達成状況（経営体数） （上段：計画、下段：実績）	4年度目 達成状況
付加価値額の拡大	1	0%
	0	
経営面積の拡大		2年度目に達成
農産物の価値向上		目標年度に達成

2 達成状況に関する県の所見（評価）及び指導内容

イチゴについては付加価値額の増加傾向にあるが、その他の品目においては付加価値額の拡大に繋がられていない状況にある。

このことから、目標達成に向けて、関係機関の連携した指導・支援のもと、次の2点に重点的に取り組む必要がある。

①イチゴについては、引き続き安定的な生産に取り組むとともに、集客に注力しさらなる販売額の増加を図る。

②新規導入品目のブドウについては、早期の成園化により販売額の増につなげる。

強い農業・担い手づくり総合支援交付金 成果目標の達成状況報告について

令和3年度に実施した北広島町保余原地区の成果目標の達成状況（4年度目）は、次のとおりです。

1 地区の成果目標

成果目標項目	目標達成状況（経営体数） （上段：計画、下段：実績）	4年度目 達成状況
付加価値額の拡大	1	100%
	1	
経営面積の拡大	1	0%
	0	

2 達成状況に関する県の所見（評価）及び指導内容

付加価値額の拡大について、栽培技術や知識の積み重ねにより、年々販売金額は増加している。

規模拡大に必要な人材確保について、所属する農事組合法人との協議は整っているものの雇用予定者が高齢化しており、近年の夏場の高温期の作業に従事させられない状況となっている。また、ハウス面積の拡大についても、同法人から遊休ハウスの使用許可を得ているが、上記の理由から人材確保ができなかったため達成できなかった。次年度は、地域内からの労働力供給を基本としつつも農業関係の求人サイトの利用等幅広い手法での人材確保も視野に入れて更なる技術習得に向けて関係機関が連携して支援していく。

農地利用効率化等支援交付金 成果目標の達成状況について

令和4年度に実施した東広島市安芸津町地区の成果目標の達成状況（目標年度）は、次のとおりです。

1 地区の成果目標

成果目標項目	目標達成状況（経営体数） （上段：計画、下段：実績）	3年度目 達成状況
農産物の高付加価値化	1	0%
	0	

2 達成状況に関する県の所見（評価）及び指導内容

3年度目の販売実績は、計画だけでなく現状値をも下回る結果となった。改善計画に記載の内容が適切に行われるよう、市と連携して助言・指導を行う。

農地利用効率化等支援交付金 成果目標の達成状況について

令和4年度に実施した神石高原町川東後地区の成果目標の達成状況（目標年度）は、次のとおりです。

1 地区の成果目標

成果目標項目	目標達成状況（経営体数） （上段：計画、下段：実績）	3年度目 達成状況
付加価値額の拡大	1	0%
	0	
単位面積当たり収量の増加	1	0%
	0	

2 達成状況に関する県の所見（評価）及び指導内容

付加価値額の増加は、前年から大幅に改善したものの、荷造り運賃手数料の大幅な増が影響し、目標を達成できていない。

単収の増加については、年々改善し増加しているが、害虫や高温の影響もあり事業実施前年の数字並に回復した程度である。

今後は、病害対策や品種に適合した栽培技術の改善を関係機関と連携して助言を行うとともに、経営的な面の専門家を活用して重点的に指導を行う。